

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名：集中治療後症候群（Post Intensive Care Syndrome: PICS）アセスメントツールの実用可能性の検証

1. 研究の対象

治験倫理審査委員会承認後から2020年12月31日の間に、当院の集中治療室（ICU・HCU）で入院された患者さんで、人工呼吸器を2日以上装着された患者さんを調査します。

2. 研究の目的・意義

ICU・HCU（集中治療室）で治療を受けた患者さんの中には、治療中から退院後も継続する筋力低下・不安や抑うつ、認知機能低下などが生じることがあります。それを防ぐためまずはICU・HCU看護師による早期発見が重要と考えられ、これらの症状を看護師が早期発見できるための新しい記録用紙を開発しています。対象患者さんの経過観察の情報収集をその記録用紙で行い、実用的に使用可能かどうかを検証します。

※調査する看護師は、規定の要件を満たした看護師が行います。

3. 研究方法

治験倫理審査委員会承認後から2020年12月31日の間に豊田厚生病院でICU・HCUに入院された患者さんで、人工呼吸器を2日以上装着された患者さんを対象者とし、日常的に行う経過観察を普段通り行い、その記録を新しい記録用紙に情報収集いたします。特別な処置や介入は行いません。また、すでにある電子カルテ内の情報収集も行います。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

<記録用紙に記載する情報>

入院前・入院時のリスク確認

PICS（集中治療後症候群）に関する情報

<カルテから収集する情報>

年齢、性別、既往歴、疾患名、入室理由、主な治療内容、使用薬剤、気管挿管日数、

輸血の有無、人工呼吸器関連肺炎の有無、面会の有無、せん妄の有無、夜間の睡眠状況、治療や集中治療室でのストレスの有無、徒手筋力テスト（MMT）、認知機能障害の症状、不安や抑うつの有無

4. 外部への資料・情報の提供

本研究では対象者ならびに観察する患者の個人情報収集しない。ただし、調査に使用した調査用紙一式と患者の基本情報についての受け渡しがある。本情報は、院内の共同研究者がカルテから情報収集して院内において口頭で研究代表者に伝える。研究代表者は、院内で資料に書き込む。これらの研究に関わる資料を研究代表者が責任を持って豊田厚生病院から研究代表者の勤務先である中部大学に速やかに移動する。

5. 研究組織・研究分担者

研究代表者：人間環境大学大学院 博士後期課程 江尻 晴美（勤務先：中部大学）

研究分担施設：豊田厚生病院 看護部副看護部長 富川 由佳里

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設研究責任者：豊田厚生病院 看護部副看護部長 富川 由佳里

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）